

13158 幼児理解と教育相談 a、b Understanding Preschoolers and Educational Counseling		2 年次～ a：前、b：後 2 単位	
担当者	藤平 雅子	履修可能学科	Pc
		関 連 資 格	教職必・保育（P c）
サブタイトル	子どものこころの問題と相談の実際		
授業内容 ・ ねらい	子どもは、こころの中に大きな不安や不満・ストレスを抱かえると、種々の問題行動やさまざまな症状を現わしてきます。特に幼児期に見られる分離不安や登園拒否、選択性緘黙、チック、心身症等は、いずれも“子どもからのSOS”にとらえることが大切です。 この講義では、援助者として子どもからのサインをどう受け止め、どう理解し、どう援助していくかを探るとともに、教育相談の主な手法であるカウンセリングや遊戯療法等についての基礎を学びます。 理論のみでなく演習を通して体験的に学ぶことを主眼とし、さらにいろいろな事例から、子どものこころの問題に対する理解を深めていきます。 思春期・青年期までも視野に入れ、“人のこころ”について考える時間にできたらと思います。		
授業計画	第1回 ガイダンス：こころの問題の成り立ちについて 第2回 教育相談とは 第3回 子どもの問題行動・症状 第4回 こころの発達理論 第5回 親子関係・親の養育態度 第6回 カウンセリングについて 第7回 演習…傾聴訓練・ロールプレイなど 第8回 “ ” 第9回 遊戯療法・アートセラピー（絵の見方・とらえ方） 第10回 演習 コラージュ・なぐり描き 第11回 援助者としての自己理解 第12回 事例研究 第13回 “ ” 第14回 “ ” 第15回 総まとめ		
教科書 参考書	毎回プリントを配布します。参考図書はその都度紹介します。		
評価方法	出席状況、授業中の態度、レポート、試験を総合して評価します。		
事前準備学習 履修条件等			